

お客様応援企画

「行事がなくても作れるアルバム」

新型コロナウイルスの感染拡大によって、2月末から始まった全国一斉休校は、お客様や弊社をはじめとする学校関連事業者の業務や経営に多大な影響を与える事態となりました。新年度に入っても休校は続き、入学式、修学旅行、運動会といった学校行事は延期や中止の対応がとられています。博進堂ではこの事態を乗り越えるためのお客様応援企画として「行事がなくても作れるアルバム」の企画提案をスタートさせました。刻々と変わっていく状況の中だからこそ、全3回毎週お届けすることによって、お客様の不安軽減に微力ながらもお役にたてるよう努めております。



お客様応援企画「行事がなくても作れるアルバム」制作委員会
お問い合わせはお電話にて「行事がなくても作れるアルバムの件で」とお伝えください。

お客様から
お寄せいただいた感想

事が起きる度にニュースや新聞等で目にする「ありふれた日常こそが大事」というフレーズには共感しながらも、当事者でないどこか他人事のように感じることがありました。

しかし、この度のウィルス禍では自分も含めほぼ全世界が当事者となりました。
各種行事はもちろん大事ですが、「ありふれた日常の記録」が卒業アルバムの主役だったのかもしれないと感じる今日この頃です。

リ・アルバムはこうして生まれた

リ・アルバム
1周年を迎えて

たくさんの古いアルバムを1冊にまとめる「リ・アルバム」が、サービス開始から1年が経ちました。お陰様で大変ご好評いただき誠にありがとうございます。

「リ・アルバム」は、博進堂の社員が身内の遺品整理の折、残された大量のアルバムの扱いに悩んだことがきっかけで発案されました。「古いアルバムを処分したい：でも、残したい」という相反する気持ちがありましたが、「アルバムの悩みはアルバム会社である当社が解決できるはず」という思いに至り、「リ・アルバム」の開発がスタートしました。

たくさんさんの古いアルバムを1冊にリメイクした場合、その古いアルバムはどうするかという課題がありました。そこで、古いアルバムについては、お寺で



アルバム供養の様子

リ・アルバムのキャンペーン情報や
詳細はこちらから→
<https://re-album.com/>



現在までに20件を超えるアルバム供養のご用命があり、写真1枚1枚に込められた思いを胸に、真心を込めて供養をさせていただいております。

ちゃんと供養をしていただければ、安心して適切に処分できるのではないかとこの発想が生まれました。その考えを清水社長と縁の深い、新潟市中央区の勝念寺様にご相談したところ、「アルバムや写真は処分しにくいものですよね」とご賛同をいただきました。清水社長も「リメイクから供養までお手伝いできることはアルバムのライフサイクルに通じ、博進堂が取り組むべき企画である」と確信し、卒業アルバム印刷会社とお寺との異色のコラボレーション「アルバム供養」が実現しました。

はくしんどう時間

7月号

今月より発行された“はくしんどう時間”は
博進堂の“今”をお届けするニュースレターです。

..... 発行にあたって



博進堂の今をお伝えするニュースレター「はくしんどう時間」をお届けします。このネーミングは経営戦略本部企画開発の山下さんの発案により採用しました。「はくしんどう時間」が心の中にあるように、この冊子で皆様と関わり、つながり、時間を共有したいという思いを込めています。アルバムは時間産業だと哲学者の清水博先生が言ってくれました。思い出はタイムトラベルであり、未来から今を見ているのだと。皆様と「はくしんどう時間」(過去・現在・未来)を楽しみたいと思います、本冊子を発行する次第です。

共創 共育 作品

代表取締役社長 清水 伸

博進堂の活動はまだまだあります！



博進堂HP
<https://www.hakushindo.jp/>



博進堂Facebook
<https://www.facebook.com/hakushindo/>



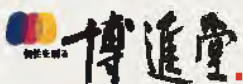
hakushindo CAMPUS
<https://www.hakushindo.jp/univ/campus.html>



博進堂書籍
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/hakushindo-store/>



ぴいくらぶHP
<https://www.pi-club.jp/>



はくしんどう時間 7月号
発行：株式会社 博進堂
題字：小笠原 麗(アルバム営業)
TEL：025-274-7755
2020.7 vol.0

佐藤賢太郎さん

玄関から元気を

博進堂の玄関に展示されている2つの作品を紹介します。

「想う」

福を呼ぶふくろう「なかよし」とセツトになるよう玄関に設置しました。乙女か人魚か？どのようにも理解していただいてよいかと思えます。皆様の幸せや世界平和を祈っているように感じられる作品です。



福を呼ぶ「なかよし」

豊実在住の石彫作家佐藤賢太郎さんは日本全国、ギリシャまでご自分の作品を寄贈し縁をつくり、世のため人のためと活躍されており、世のため人の縁起物として知られております。ふくろうの「なかよし」も福を呼ぶ大変縁起の良い作品です。



この2つの作品は、いずれもコロナウイルスで暗い世の中に光を投じてくれるものと信じています。お近くにお越しの際はぜひ願を掛けに、博進堂へお気軽にお立ち寄りください。



優秀賞
受賞

新潟市働きやすい
職場づくり推進賞



博進堂はこの度、新潟市働きやすい職場づくり推進賞「優秀賞」を受賞しました。今年の2月に、新潟市の東区プラザにて表彰式があり、清水社長が中原新潟市長より賞状を授与されました。国の方針である働き方改革で、働きやすい職場

づくりは、採用活動のうえでも企業の最重要課題の一つとなっています。20世紀後半以降の経営管理論では従業員は健康であることを前提としてきたものの、今その前提が崩れつつあるとのこと。企業が存続し続けていくためにも従業員の健康を守り「健康経営」を維持するための企業努力、取り組みは必須です。今後も働きやすい職場づくりのための活動をさらに進めていきます。

特徴的な取り組み

- 結婚や出産、配偶者の転勤等で通勤が困難な社員が在宅勤務できる規定を設けて就業継続を支援
- 個人のワークライフバランス目標を社内でも共有できるよう「見える化」している
- 有給休暇の取得率を高める取り組みとして自分で決めた記念日を3日取得できる「アニバーサリー休暇」を導入